

# 7 防犯対策

- 
- 7-1 効果的な地域の取り組み
  - 7-2 防犯活動への参加意向
  - 7-3 参加したくない理由
-

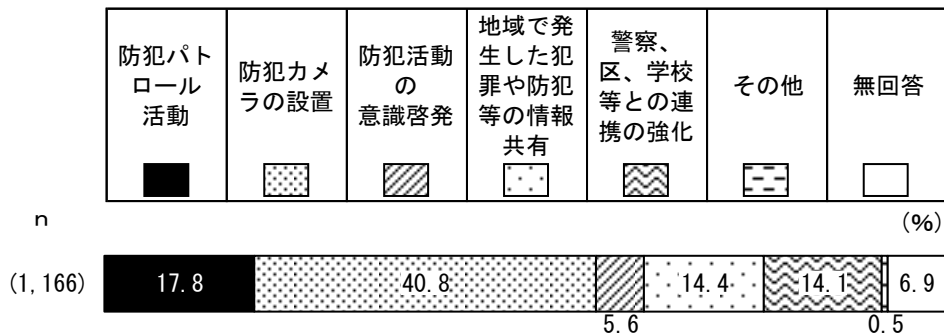


## 7-1 効果的な地域の取り組み

- 「防犯カメラの設置」が約4割

問19 あなたが安全で安心なまちづくりを実現するために効果的だと考える地域の取り組みは何ですか。次の中から最も重要だと思うものを1つ選んでください。

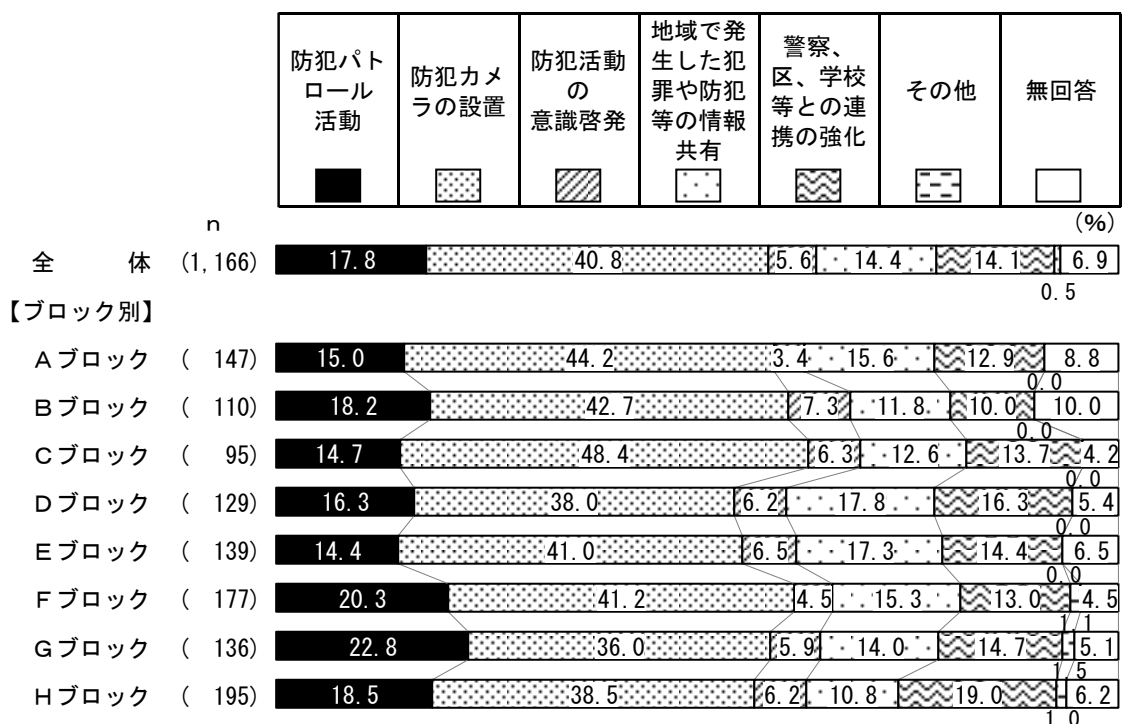
図7-1-1



安全で安心なまちづくりを実現するために効果的だと考える地域の取り組みを聞いたところ、「防犯カメラの設置」(40.8%)が約4割で最も高く、次いで「防犯パトロール活動」(17.8%)、「地域で発生した犯罪や防犯等の情報共有」(14.4%)となっている。(図7-1-1)

ブロック別でみると、「防犯パトロール活動」はGブロックが最も高く2割を超えている。「防犯カメラの設置」はCブロックで5割近くとなっている。(図7-1-2)

図7-1-2 ブロック別 効果的な地域の取り組み

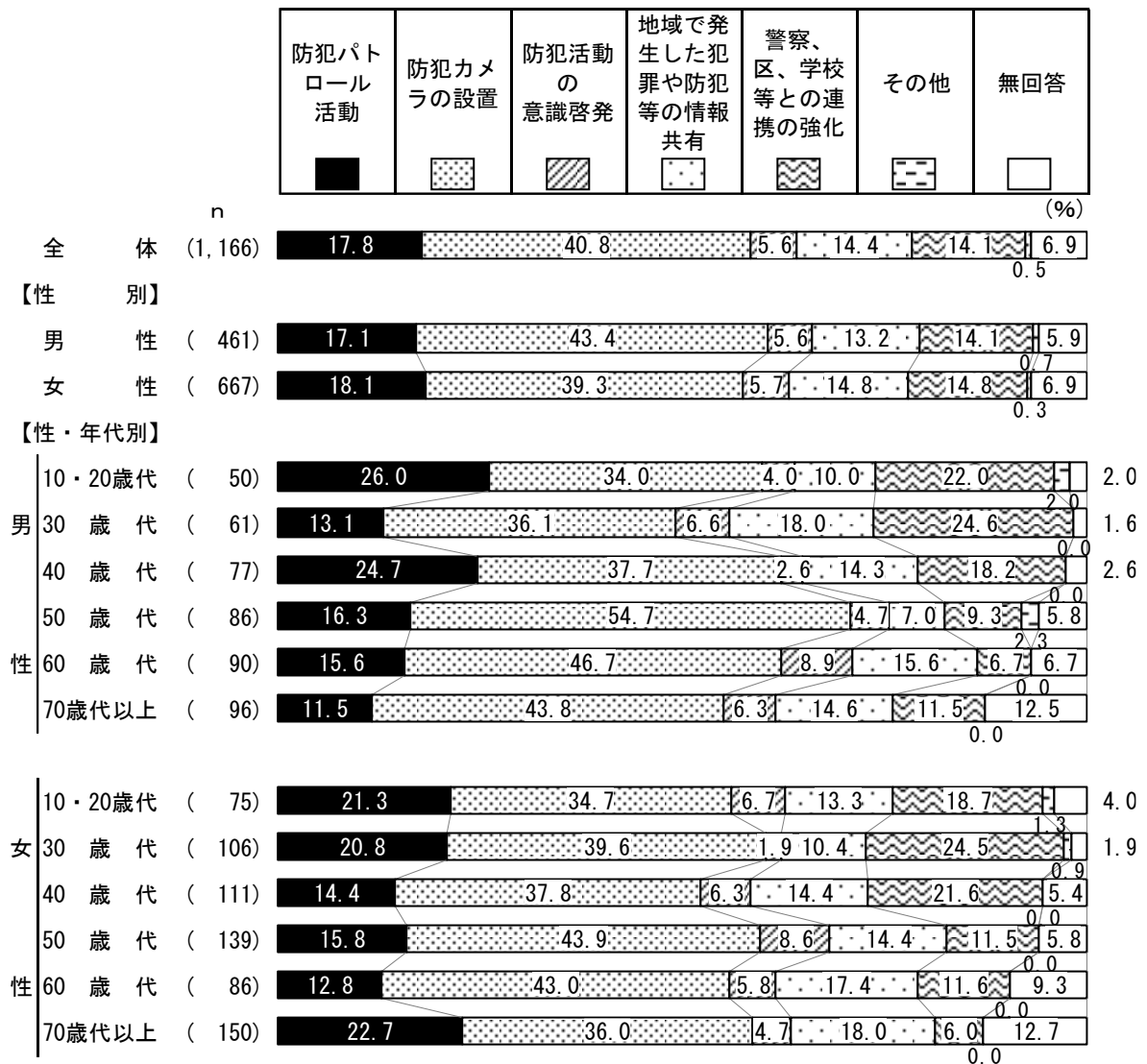


性別でみると、男女間で大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「防犯カメラの設置」は男性50歳代で5割台半ばと高くなっている。「警察、区、学校等との連携の強化」は男女ともに30歳代で2割台半ばと高くなっている。

(図7-1-3)

図7-1-3 性別、性・年代別 効果的な地域の取り組み

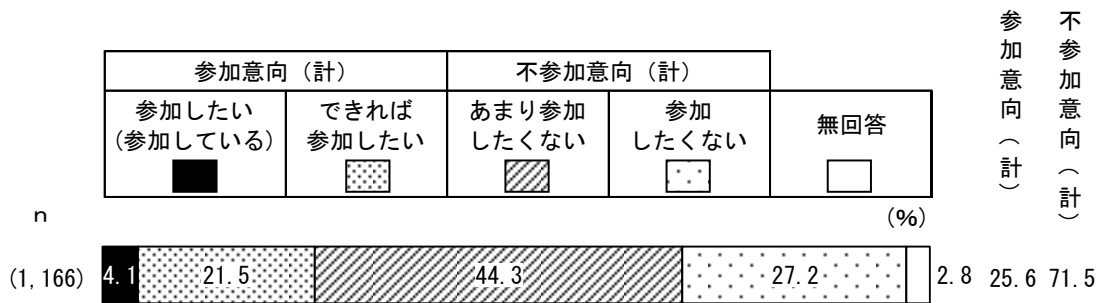


## 7-2 防犯活動への参加意向

- <参加意向 (計)>は2割台半ば

問20 あなたは、地域住民やボランティア団体によるパトロールなどの、地域の防犯活動に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図7-2-1

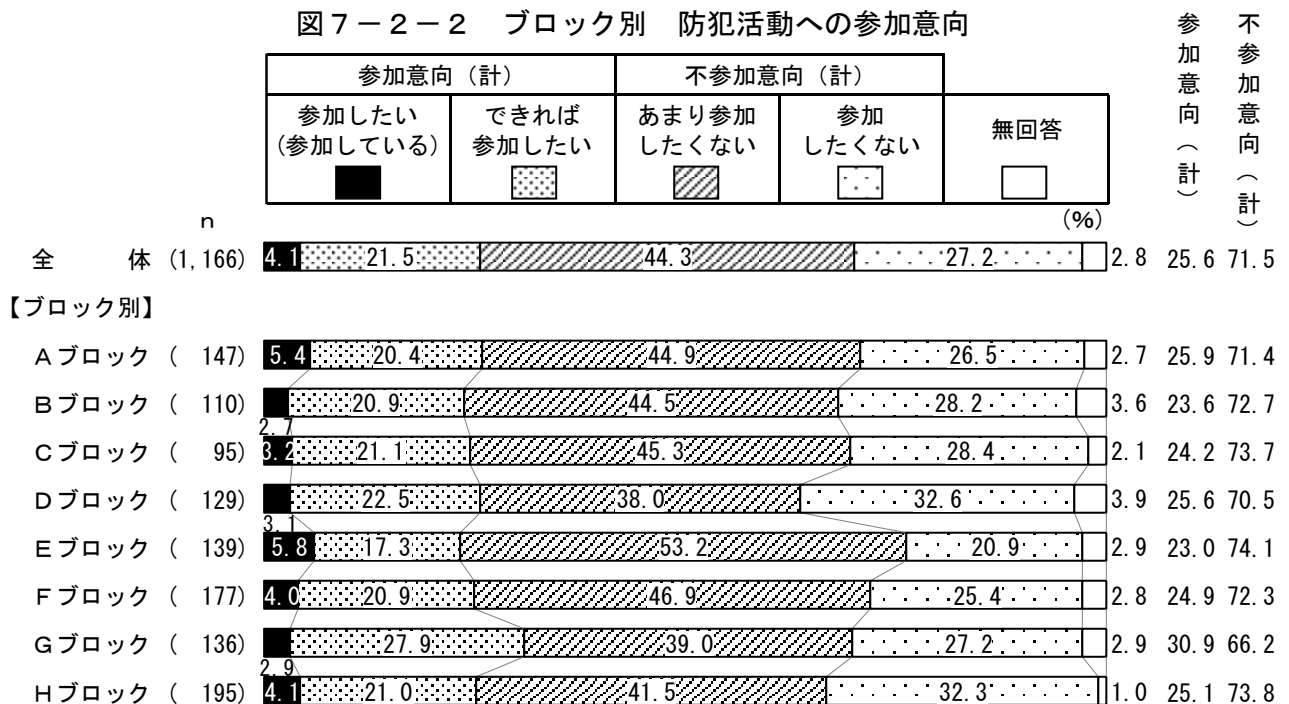


(注) <参加意向 (計)> = 「参加したい (参加している)」 + 「できれば参加したい」  
 <不参加意向 (計)> = 「参加したくない」 + 「あまり参加したくない」

地域住民やボランティア団体によるパトロールなどの、地域の防犯活動に参加したいと思うか聞いたところ、「参加したい (参加している)」(4.1%)と「できれば参加したい」(21.5%)を合わせた<参加意向 (計)>(25.6%)は2割台半ばとなっている。一方、「参加したくない」(27.2%)と「あまり参加したくない」(44.3%)を合わせた<不参加意向 (計)>(71.5%)は7割を超えている。(図7-2-1)

ブロック別でみると、<参加意向 (計)>はGブロックで約3割となっている(図7-2-2)

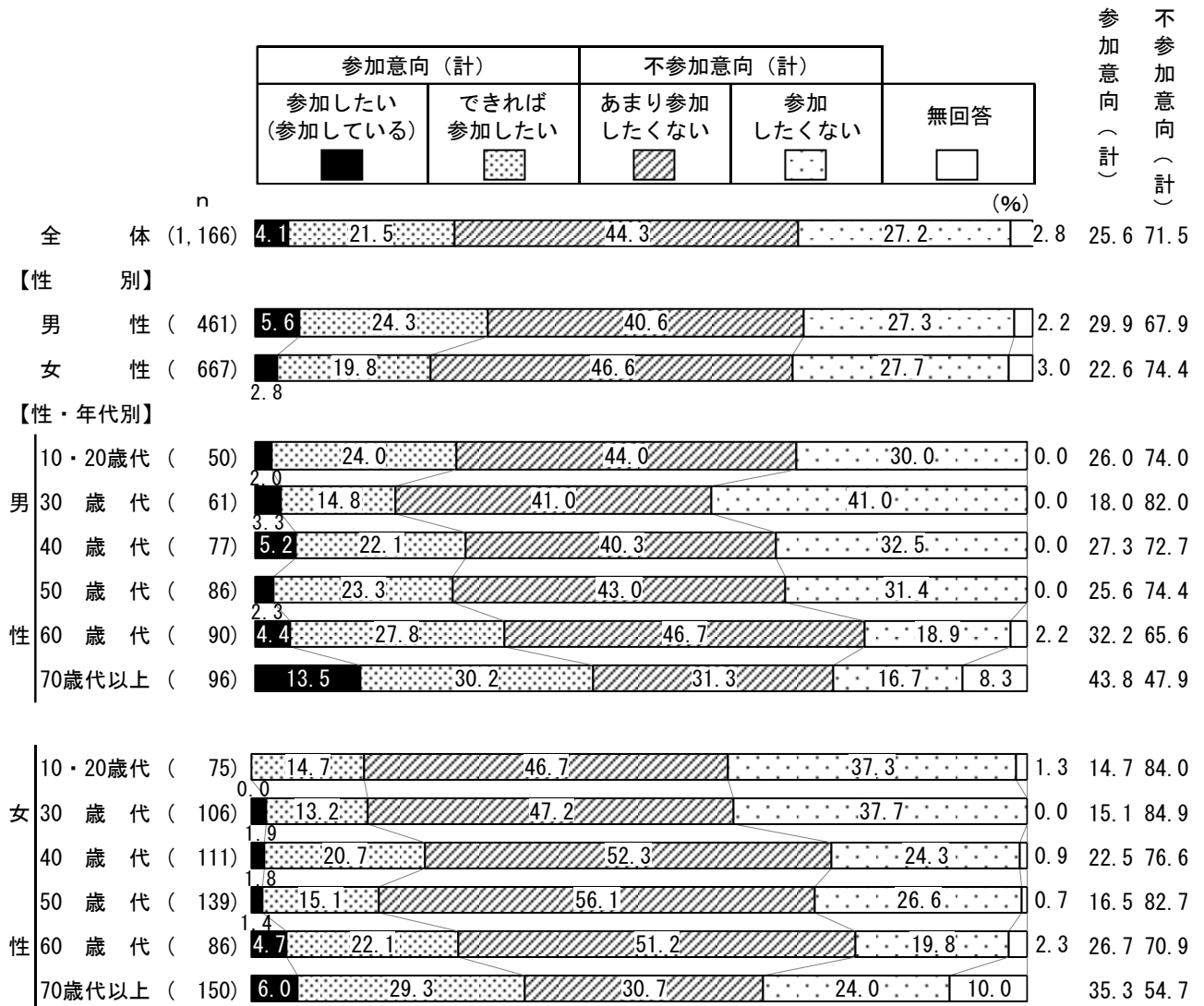
図7-2-2 ブロック別 防犯活動への参加意向



性別でみると、＜参加意向（計）＞は男性が女性より7.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、＜参加意向（計）＞は男性70歳代以上で4割を超えて高くなっている。一方、＜不参加意向（計）＞は男性30歳代、女性10・20歳代、30歳代、50歳代で8割台と高くなっている。（図7-2-3）

図7-2-3 性別、性・年代別 防犯活動への参加意向



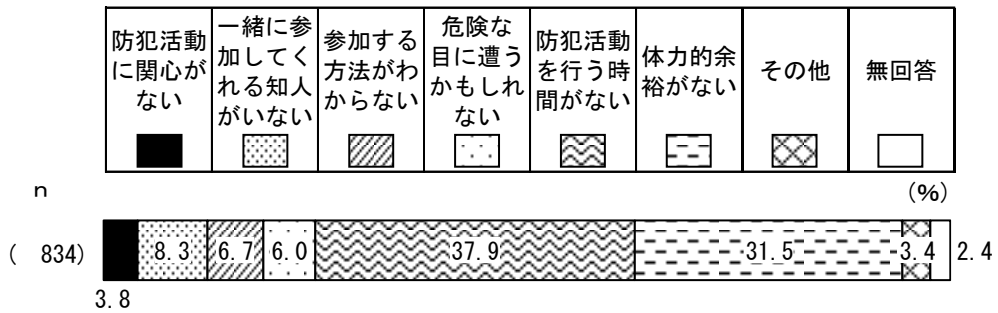
### 7-3 参加したくない理由

- 「防犯活動を行う時間がない」が4割近く

〔問20で「あまり参加したくない」・「参加したくない」と答えた方に〕

問20-1 防犯活動に参加したくない理由は何ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

図7-3-1



地域の防犯活動へ＜不参加意向（計）＞だった人（834人）に、防犯活動に参加したくない理由を聞いたところ、「防犯活動を行う時間がない」（37.9%）が4割近くで最も高く、次いで「体力的余裕がない」（31.5%）、「一緒に参加してくれる知人がいない」（8.3%）となっている。

（図7-3-1）

性別でみると、「体力的余裕がない」は女性が男性より9.7ポイント高くなっている。一方、「防犯活動を行う時間がない」は男性が女性より6.2ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「防犯活動を行う時間がない」は男性40歳代、女性10・20歳代で5割台半ば以上と高くなっている。「体力的余裕がない」は女性70歳代以上で約8割、男性70歳代以上、女性60歳代で5割台と高くなっている。(図7-3-2)

図7-3-2 性別、性・年代別 参加したくない理由

